

福祿寿神のご利益パワー！

- 赤山禪院の本尊「赤山大明神」は、天にあっては「福祿寿神」、地にあっては「泰山府君」とされ、森羅万象、万物の命運を司るとされています。特に、商売繁盛・健康長寿・除災にご利益があるとされます。

江戸時代には、「申の日」の5日に赤山禪院に詣でると吉運に恵まれる、という評判が立ち「赤山さんは、掛け寄せ(集金)の神さんや」と言われるようになりました。その五日講ご縁日詣でから、「五十払い(ごとばらい)」の商習慣ができたと言われています。現在も、赤山禪院では毎月五日に「泰山府君 五日講 ご縁日」として大阿闍梨による祈禱が行われ、商売繁盛を願う方がお参りにこられます。



山門



•十六羅漢石像



鬼門除けの猿

かつてに、抜け出さないように金網の中に入れていた。抜け出して夜な夜な悪さをしたため

右手に御幣(ごへい: 神道の祭祀に使う細長い木の枝に白い紙を切って挟んだもの)、左手に鈴を持ったなんと愛嬌のある猿。

松ヶ崎大黒天

8月の五山の送り火のときには、妙法の字が点火される、松ヶ崎の東山のふもとにあるのが、このお寺です。

本堂の入り口に、米俵に乗った大黒さんがどど〜んと座っておられます。

本堂の奥には、大黒天の像があるのですがふだんは見る事ができず、

2か月に1度のある、甲子(きのえね)祭で、ご開帳となるそうです。

【松ヶ崎大黒天】

左京区松ヶ崎東町31

075-781-5067

[HTTP://MATUGASAKI-DAIKOKUTEN.NET/](http://MATUGASAKI-DAIKOKUTEN.NET/)



寺院縁起

霊峰比叡山の西南、松ヶ崎山の麓に位置する松崎山 妙円寺(松ヶ崎大黒天)は、約400年前の江戸初期の元和2年(1616)、本覚院日英上人の開基・開創による日蓮宗寺院であります。

永仁2年(1294)日蓮聖人の法孫(ほうそん)、日像(にちぞう)上人によって法華経がひろめられ、徳治元年(1306)に松ヶ崎全村が日蓮宗に改宗したという法華信仰の流れがあり、「松ヶ崎法華」とまで云われるようになりました。また教蔵院日生上人によって創立された、「根本の檀林」と云われる本涌寺「松ヶ崎檀林(僧侶の学校)」がこの近くに位置し、その本涌寺の能化(教師)であった日英上人が建てた隠居所が当山の始まりです。

当山の大黒堂に安置されている大黒天は、京都七福神の第一の霊場として知られており、ご本尊の威徳を慕う信者は全国各地、多数におよびます。





①本堂

一年を通じて様々な行事や法要などに使用します。



②大黒堂

ご祈祷・ご供養を行う場所になります。
寺務所の受付やご参拝もこちらで承っております。

大黒天は、仏教の守護神であり、法華経・仏教信仰者の守護神であります。当山の大黒天は、京都の子丑の方角（表鬼門）にお祀りされた、京都鬼門守護の福の神であり、ひろく平等に深く愛し、幸せの姿にみちた「寿福円満 開運招福 商売繁盛」ご守護の大黒さまです。

なお、昭和44年1月20日、ご信者の献灯によりお寺が焼失しましたが、大黒さまは水火を免れ、無事ご出現されました。それにより「火中出現 火伏守護の大黒さま」として崇拝されています。



③水子観音